

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【公開番号】特開2015-114653(P2015-114653A)

【公開日】平成27年6月22日(2015.6.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-040

【出願番号】特願2013-259248(P2013-259248)

【国際特許分類】

G 03 B 21/14 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

H 04 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/14 F

G 03 B 21/00 D

H 04 N 5/74 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年11月29日(2016.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投影面に画像を投影する画像投影装置において、
煙を検知する煙検知手段と、
温度を検知する温度検知手段と、
前記煙検知手段及び前記温度検知手段の検知結果に基づいて、装置周辺での発煙が生じているか否かを判定する判定手段と、
を備えたことを特徴とする画像投影装置。

【請求項2】

請求項1に記載の画像投影装置において、
前記判定手段は、装置や装置近傍での発煙が生じているか否かも判定し、
前記装置周辺での発煙と、前記装置や前記装置近傍での発煙とに、それぞれ対応した当該画像投影装置の制御、及び警告や情報の出力を行うことを特徴とする画像投影装置。

【請求項3】

請求項2に記載の画像投影装置において、
当該画像投影装置の画像投影手段を用いて、前記警告や前記情報の出力を行うことを特徴とする画像投影装置。

【請求項4】

請求項2に記載の画像投影装置において、
音声出力手段、及び外部通信手段の少なくともいずれかを備え、
当該画像投影装置の画像投影手段、前記音声出力手段、及び外部通信手段の少なくともいずれかを用いて、前記警告や前記情報の出力を行うことを特徴とする画像投影装置。

【請求項5】

請求項1乃至4のいずれか一に記載の画像投影装置において、
前記煙検知手段の煙センサーは、当該画像投影装置の設置可能な複数の設置状態に対応し、当該画像投影装置の複数箇所に設けられていることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか一に記載の画像投影装置において、前記温度検知手段の温度センサーは、当該画像投影装置の複数の箇所に設けられていることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか一に記載の画像投影装置において、当該画像投影装置の投射レンズと投影面との間にある遮蔽物を検知する物体検知手段を備え、前記物体検知手段の検知結果に基づいて、前記判定手段は、前記煙検知手段で煙を検知した場合に、前記遮蔽物が要因で発煙が生じているか否かを判定することを特徴とする画像投影装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか一に記載の画像投影装置において、前記煙検知手段は、画像投影を行う光源から直接受光することのない位置に前記煙検知手段の煙センサーの受光部を設け、煙による散乱光を受光する光電方式であることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の画像投影装置において、画像投影を行わないスタンバイ状態においても、前記光源を所定の光量だけを発光させることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 10】

請求項 8 又は 9 に記載の画像投影装置において、前記光源は、複数の発光素子を有したものであることを特徴とすることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の画像投影装置において、画像投影を行わないスタンバイ状態においても、一部の発光素子だけを発光させることを特徴とすることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 12】

請求項 11 に記載の画像投影装置において、発光する発光素子が故障した場合、別の発光素子を発光させることを特徴とする画像投影装置。

【請求項 13】

請求項 8 乃至 12 のいずれか一に記載の画像投影装置において、前記光源の漏れ光を利用することを特徴とする画像投影装置。